

# 雄飛

# 雄飛

一般社団法人 雄飛会  
(福岡工業大学同窓会)会報

vol.

29

発行

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)／会報編集委員会

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX ..... 092-608-5982

E-mail ..... dousoukai@fit.ac.jp

URL ..... <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

女子柔道部

2022年度全日本学生柔道優勝大会 優勝

# 学校法人 福岡工業大学 理事長挨拶

理事長 大谷 忠彦



皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は学生の経済的支援などに格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本学ではこれまで「丁寧な教育」や「面倒見のよさ」を実践してまいりました。アクティブ・ラーニングの全学展開や学生個々の志向に沿った手厚い就職支援などが注目されることとなり、その結果として大手有力企業からは「採用を増やしたい大学」として毎年全国レベルで上位ランキングされるなど同窓会の皆様にも高く評価いただいております。このことは志願者の拡大・維持や入学定員の充足につながっており、経営の状況は大変安定したものとなっております。

さらに充実した教育を展開すべく今年度から発効となった「第9次中期経営計画（マスタープラン）」では「学修者本位の教育の高度化」を方針として明確に打ち出しました。時代の急速な変化・進展は学生・生徒に主体的・個別的な学びを求めています。本学ではそれら学びを徹底的にサポートする体制を強化してまいります。

コロナ禍が依然として終息の気配をみせない中、本学では感染防止への配慮を万全に整えながら、「対面授業」をこの1年も継続してまいりました。この取り組みは大切な「学びのコミュニティ」を形成する方策として学内外から高い支持をいただきました。その一方でDX化の波は教育現場にも押し寄せております。「学修者本位」の高度化に対応するために教育DXへの本格的対応を迅速に進めてまいります。具体的にはオンライン環境を用いた教育推進のための施設・設備を増強し、本学の強みである「対面授業」に新たな+αの高い付加価値提供を進

めております。また「教育成果の可視化」も教育DXによって実質化されるものになります。データを活用しながら学生・生徒も教職員も「学びの現在地」を確認し、今後の方策につなげるためのサポートも強めてまいります。

一方で従来の考え方についてもブラッシュアップを図り、時代対応を行っております。今年度から新設の「学習支援センター」は学生個々の関心や要求に応じた学習サポートを行う施設として早くも学生たちに定着した存在ともなっております。

「学修者本位の教育」にあたっては豊かな学びの環境作りも重要です。本学では数年来学園全体の環境整備に取り組んでまいりました。JR福工大前駅から学び舎へとつながる「キャンパスアプローチ」の整備が完了しました。見通しの良いメイン通路を木々や芝生の緑が包み込み、通学の足を急ぐ学生・生徒たちに穏やかな心持を与えてくれるものと思えます。附属城東高校も数年にわたる整備・改修を終え、その姿を一新しております。その象徴でもある威容を誇る体育館と目にも鮮やかな人工芝に覆われたグラウンドは早くも学園のみならず、地域のシンボルとしても注目されております。

現在の学園経営の安定は、母校に思いをはせるに皆様にとっても安堵いただけるものではないでしょうか。しかし進歩・発展に伴って新たな課題も生まれております。これらに対しても本学の強みである組織力、教職協働の力をもって「柔軟」かつ「強靱」な対応を重ねてまいる所存であります。

改めてこれまでのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、同窓会の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 下村 輝夫



会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃、学生への経済的支援などご尽力賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が進展し、四半世紀ほど時間が一気に進んだ感が致します。高校の現場からも、タブレット導入により「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適化」が従来よりも格段に進んだとの声は多く聞かれます。これを経験している生徒が入学してくることを考えれば、ICTを活用した授業展開や教育改革が不可欠となつてまいります。

学園としても、これに対応した教育組織の改組を進めております。短期大学部では、従来の2学科体制をスクラップ・ビルド化して「情報メディア学科」1学科とし、大学では情報工学科の「システムマネジメント学科」を改組して「情報マネジメント学科」とする旨の申請を文部科学省に行っているところです。しかしながら、最も重要なことは大学という組織だけでは解決が難しい側面もありますので、ステークホルダーの皆様、特に卒業生の皆様からのご意見も取り入れていくことだと考えます。

母校は同窓会会員の皆様のご支援のおかげで、順調に発展を遂げております。しかしながら、昨今報道されますように人口減少は予想よりも進み、近い将来には福岡市も現状のままでは、例外ではないと指摘されています。世界的な不透明感が強く印象づけられる昨今ですが、学生と学園と同窓会が三位一体の連携を図ることが出来れば学園は存続しつづけると確信致します。これからも何卒よろしく支援を賜りますようお願い申し上げます。末尾ながら、会員皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

## 同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生(昭和45年電子工学科卒)



会員の皆様には、日頃から雄飛会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

現役で活動中の皆様、第二の人生を迎えられた皆様、夫々に自粛生活を強いられ、そのため活動が制限され生活のリズムも狂つてなかなか元に戻れない状況ではないかと思料します。最近では、猛威を振るつたオミクロン株も10月を迎えて下火になり、一部の支部では交流会等の開催の動きが出てきました。また、母校においても学生の姿が多く見られ活気を取り戻しつつあります。

さて、会報「雄飛」は、紙面発行を止めて同窓会ホームページへの掲載のみに切り替えました。ホームページを開くことに若干の不便さは感じますが、デジタル社会の進展に合わせ、雄飛会でもインターネットを活用し情報発信を促進します。支部活動の動向・雄飛会全体の動き・母校の状況などの情報源として活用をお願いします。

同窓会本部の現況について

- ① 令和4年6月の定時社員総会は、新型コロナウイルス感染症防止対策により書面決議となりました。議題は、令和3年度の活動報告等、定款の改正および関連する規程の改正などで、全ての議案が決議されました。
- ② 楽しみにしていました広島市にて開催予定の「交流会」はコロナ禍により3年続けて中止となりました。令和5年6月に広島市にて改めて開催を予定しています。
- ③ FIT MUSEUMは11月2日・3日の学園祭(立花祭)において、「FIT MUSEUM見学会」を行い、2日間で250名の見学者がありました。当日は館長の秀崎先生が、来場される一般の方々に展示物の説明をされ、充実した内容で見ていただきました。見学者の皆様からとても好評でした。
- ④ 雄飛会の会費徴収について、母校のご協力により令和4年度の入学生から、入学時に収める学納金に会費相当分を含めた金額を納入して頂くことになりました。従来は雄飛会事務局で入学者への加入案内を行い会費の徴収を行っていたものを、今年度から、母校事務局の協力により会費徴収を代行して頂くことになりました。この結果、会費の100%徴収と関連業務が大幅に軽減されました。

結びに、雄飛会が「皆様の拠り所」有為なコミュニケーションの場」としての機能を果たし、会員の皆様の積極的な参加によつて有益な組織になることを願っています。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 同窓会事務局局長挨拶

事務局長 本行 義洋

(昭和59年通信工学科卒)



平素より会員の皆様には、雄飛会の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

令和4年6月の理事会において、雄飛会の事務局長を拝命いたしました本行義洋と申します。私は昭和59年通信工学科情報専攻を卒業後、本学の電子計算機センター(現情報基盤センター)に採用となり、現在は学生部・就職部に所属いたしております。雄飛会では平成26年から代議員として組織支援部に所属し、令和2年から事務局次長を仰せつかっておりました。これからも微力ながら、雄飛会の発展のため尽力いたす所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

雄飛会の活動は未曾有のコロナ禍によって、2年半以上にわたり制限を余儀なくされてきましたが、社会経済活動の再開と共に雄飛会の活動も徐々に再開し始めました。雄飛会では将来における安定運営および持続可能な体制構築のためにも、会員相互間の新たな交流機会の創出と未来の雄飛会を支える学生会員(在学生)への支援の充実が必要と考えています。従来の各支部活動に加えて、課外活動や会社組織のコミュニケーションを基盤とした新たな活動組織の検討や、学生会員の修学、課外活動、就職等に対する支援強化を図って参ります。

母校の直近の状況について

①令和4年度の総志願者数は10、746名、志願者倍率11・7倍(6年連続10倍)、実志願者数3、050名で入学志願者を高位安定的に確保しています。また、合格目標偏差値(進研模試)も50を

超え、志願倍率と共に入試の難易度が上昇しています。

②令和4年3月卒業生の就職率は99・9%となりました。また、実就職率は96・6%で、ユニバプレスの大学規模別ランキング(卒業生数500人以上1000人未満)で全国2位となり、地区別ランキングでは、中四国・九州・沖縄地区で1位となりました。

※就職率Ⅱ就職者数÷就職希望者×100  
※実就職率Ⅱ就職者数÷(卒業生数－大学院進学者数)×100

③全国624進学校へのアンケート調査において、生徒に勧めたい私立大学で全国21位、就職に力を入れている大学で全国6位(九州・沖縄で2位)、面倒見が良い大学で全国5位、小規模だが評価できる大学で全国16位、コロナ禍の対応が上手だった大学で全国19位などの高評価をいただいております。

④私立大学等改革総合支援事業において、平成25年度の創設から今日まで本学の取組みが高い評価を受けており、9年間の総合評価で全国約930校中、第3位の結果となっています。なお、令和3年度は「Society5・0の実現等に向けた特色ある教育の展開」、「特色ある高度な教育の展開」、「社会実装の推進」の3項目が選定されました。

※私立大学等改革総合支援事業とは、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援する事業で、4つの評価項目があります。

雄飛会の活動が会員の皆様にとって有益になりますように、また、母校の発展にも寄与すべく精一杯努めたいと存じますので、ご理解とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

## 予告

### 福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)交流会 開催予定のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により3年連続して延期になっておりましたが、同窓会交流会(広島県広島市 広島ガーデンパレス)を

**「令和5年6月17日(土)12時～」**  
に開催する予定となりました。

※開催が決定しましたら、例年通り4月下旬～5月上旬に「同窓会交流会のご案内」を送付いたします。  
なお、開催中止または延期の場合は、同窓会ホームページ上にてご案内いたします。  
郵送等の個別の連絡は行わない予定ですので、予めご了承ください。



## 部活動報告

## 女子柔道部

社会環境学部 社会環境学科 3年  
(大分県立三重総合高等学校)

主将 羽田野 真尋



女子柔道部主将の羽田野真尋です。

現在、女子柔道部は部員5名で、稽古は週6日の1日2時間半を附属城東高校生と共に城東高校柔道場で活動しています。

今年、5月に九州学生柔道大会で優勝し、6月の全日本学生柔道優勝大会に出場しました。全国大会では、12大会ぶりに優勝することができました。また、個人戦では8月に行われた九州学生柔道体重別選手権大会で1名が入賞し、全日本学生柔道体重別選手権大会に出場しています。

来年も全日本学生柔道優勝大会での優勝を目標に、これからも日々の稽古に励んでいきたいと思っています。

個人戦でも、1人でも多く選手が全国大会に出場し、結果を残していけるように頑張ります。

今後女子柔道部の良い結果が報告できるよう頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。



## 軟式野球部

工学部 電子情報工学科 3年

主将 関戸 祐太



私たち軟式野球部は、水曜日と日曜日の週に2回練習を行っており、全日本学生軟式野球連盟の九州連盟に所属しております。九州連盟には、福岡県内の大学10校が所属しており、春と秋に2回行われるリーグ戦で、それぞれ勝ち上がると、上位2チームが全国大会と西日本大会へ出場することが出来ます。

今年度は、部員数が足りずに出場を辞退したチームがいたため、全国大会への出場が1チームのみとなり、春のリーグ戦で優勝しなければ全国大会へ出場することが出来ない状況でした。昨年は、準優勝で全国大会へと出場することができたので、今年も全員の目標が全国大会に出場することで一致していました。大会が近づくにつれてチームの雰囲気も高まり練習に熱が入りました。本番では、各試合で2年生エースを中心とした投手陣が試合を作り優勝し、目標であった全国大会に2年連続で出場することができました。全国大会では、1対2で惜しくも一回戦敗退となってしまいました。この悔しい思いを後輩に託して来年リベンジをしてみたいと思います。

また、全国大会出場にあたり、新しい帽子、ユニフォーム、ズボンを購入して頂いたほか、学生課の方々、教育後援会、同窓会、学生自治会より多大な支援を頂きました。今後多くの方々の支えのおかげで野球が出来ていることに感謝をしながら活動していきたいと思っています。

強化  
クラブ  
結果報告

- 硬式野球部** 第29回ユニバーシアード大会記念九州大学野球選手権大会 3回戦
- ラグビー部** 2022年度九州学生ラグビーリーグ 優勝  
第59回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 3回戦進出  
(令和4年11月27日現在)
- 女子柔道部** 2022年度全日本学生柔道優勝大会(女子3人制) 優勝  
2022度全日本学生柔道体重別選手権大会 出場
- 吹奏楽団** 第70回全日本吹奏楽コンクール 銀賞

# 立花祭 実施報告

情報工学部 システムマネジメント学科 3年

弓削 晋彦

今年の立花祭は3年ぶりとなる例年通りの規模での実施をいたしました。未だ新型コロナウイルスが皆様の生活に色濃く残る状態での開催ではありませんでしたが、少しでも来場者の方々には日常を感じてほしい、参加団体には活動が著しく制限されていた中で立花祭を通して活動を活発にしてほしいという願いのもと、実施を決意しました。

昨年の経験をいかした徹底した感染症対策を実施し、昨年と比べ規模の違いから戸惑うことや行き詰まることが多々ありましたが、役員一同助け合つて意見を出し合い、学生課や管財課の方と何度も話し合いを重ねることによって、無事に当日を迎えることができました。当日は多少のトラブルはございましたが、概ね無事に当日を終えることができました。たくさんの方から楽しかったとお声がけいただけまして、大変ではありましたが実施してよかったと心から思いました。役員たちも立花祭を自分たちで作り上げることができた達成感を感じており、終わった後でお疲れさま。楽しかったと無事に終わったことを喜んでいました。

目玉企画であるレーザーショーは関係者だけでなく、近隣住民の方にも楽しんでいただくことができ地域貢献ができたのではないかと思います。また、トークショーでは志田未来、ROLANDの御二方にお話をしていただき、たくさんの方の来場者様にお楽しみいただきました。

最後になりますが、立花祭に関わってくださったたくさんの方に御礼申し上げます。これからも学生自治会は学生のために何ができるかを考え、活動してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

立花祭当日



立花祭お化け屋敷



立花祭作成



立花祭広場



立花祭ライブ緑ステージ



立花祭ライブ赤ステージ



立花祭レーザーショー



立花祭お化け屋敷行列



立花祭本番



立花祭準備



立花祭準備



立花祭準備



企画リハーサル





## 第55回立花祭 FIT MUSEUM見学会報告

11月2日から3日にかけて開催された第55回立花祭の学内開放にあわせて、FIT MUSEUM(音とモノづくりの歴史資料館)見学会が開催されました。

FIT MUSEUMは、福岡工業大学の中において教育施設として位置づけられており、100年以上も前に製造された名品に接することで、学生に「モノづくりの大切さ」、「素晴らしさ」を知ってもらい、新しい発想で「モノづくりに挑戦」して欲しいとの思いで運営されています。

今回の見学会は混雑を避けるため、1グループ10名以下の人数制限を行い、午前10時から午後3時までの5時間を30分毎の時間帯に分ける予定でした。しかし、事前に学園祭のパンフレットを近隣の方に配布したこともあり、予想外に来館者が多く人数制限を若干緩和しました。

来館者にアンケートをお願いし感想やご意見をいただきましたが、展示品の動態保存のすばらしさ、歴史的に貴重なモノに接することができた感動、今と比べても遜色のない技術に対する感心など大変楽しめたとの高い評価をいただきました。見学会の前に、モノづくりの時代背景や技術の変遷など、皆さんのご理解のお役にたてるように機器説明文の充実を図ったことも奏功したのではないかと思います。

最近の学生にとっては蓄音機、鋼線式録音機、真空管などは「未知なるもの」と感じただけですが、思いの外興味津々の様子で質問もあり、学生にも有意義な時間を持つてもらえたと思います。

また、3日にはキャンパスツアーの一環としてOB交流会の見学会も開催されました。秀崎館長による展示機器にまつわるエピソードや説明など話が弾み、皆さん古き良き時代を懐かしみ楽しい時間を過ごされた様子でした。

二日間の見学者は249名となり、学内外のより多くの方にFIT MUSEUMの存在を知っていただくよい機会となりました。アンケートに記されたご意見を参考に、たくさんの方にご来館していただけるよう改善していきたいと考えています。



OBグループの見学

## 一般社団法人雄飛会 OB交流会

去る、11月3日(祝)に母校福岡工業大学において、雄飛会福岡支部主催のOB交流会を開催しました。このOB交流会は、雄飛会福岡支部の新たなネットワーク構築と組織の活性化を図ることを目的に、雄飛会本部と連携した新たな取り組みとして企画したものです。

今回のOB交流会は、今後の活動に向けた試行的開催であったことから、福岡市とその周辺で会社経営等されている雄飛会の会員に限定したご案内とさせていただきます、16名が参加されました。

当日は学園のエクステンションセンター主催の特別講演「SDGsについて」を受講の後、雄飛会事務局から大学・短大の現状として、入学志願者状況や教育力、研究力、就職力、グローバル化、地域連携等、母校の多様な取組みについて紹介しました。また、昼食は学生食堂オアシス(ロイヤルグループ運営)で、全国学食ランキング1位に輝いたこともある、オアシス自慢のカレー等を試食していただきました。

昼食後は、学内ネットワークの中核である「情報基盤センター」やナノレベルの観察が可能な電子顕微鏡を所有する「計測センター」をはじめ、さまざまな学びに対応できる「附属図書館」やアイデアをカタチにできる「モノづくりセンター」を見学していただきました。特に最後に訪れた雄飛会が運営する「音とモノづくりの歴史資料館(FIT MUSEUM)」では、懐かしい音響機器等が数多く展示されており、皆さんからは多くの質問が出ていました。また、当日は立花祭(学園祭)も開催されており、学生時代を思い出されていたようです。

雄飛会では、今後もこのようなOB交流会を開催し、会員相互の交流を深め組織の活性化を図りたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



# 母校からのお知らせ

## 高校施設・設備整備計画の 第2期工事が完工！

福岡工業大学 財務部 管財課

課長 松原 宏



1.図書室



2.中庭



3.グラウンド人工芝



4.100m直線レーン

当整備計画は、①新校舎建設、②新体育館建設、③校舎・体育館連絡歩道橋架設、④学園アプローチ改修、⑤前庭・中庭改修、⑥グラウンド人工芝化、並びに⑦既存校舎の機能性・快適性向上の改修からなります。これまで、①～④を第1期工事として昨年8月に完工しました。このたび第2期工事である、⑤前庭・中庭改修、⑥グラウンド改修及び⑦既存校舎改修(図書室)を行いました。

図書室は、採光窓の拡大による自然光の活用、ブラウン基調のシックな空間に、整然と書棚・什器が配置され、静穏な学習環境となっています(写真1)。中庭広場は、シンボリックな櫛の大樹を中心として周辺にベンチを配置し、生徒の休息・寛ぎの空間となっています(写真2)。グラウンドは、全面に人工芝を敷設し、ラグビー・サッカーコート(公式規則適合)と400mトラック(6レーンの公式距離、100mの直線レーン、走り幅跳び場を設定)を配置しています(写真3、4)。特に、人工芝は、競技面での機能性向上はもとより、自然環境問題(海洋へのマイクロプラスチックごみ流出等)に対応した仕様(人工芝材質の高耐久、樹脂ゴミ・充填剤の飛散・流出抑制)となっています。

なお、人工芝化により、従前の問題(雨天時の土砂の流出、強風時の砂塵の飛散、樹木枯れ枝・枯れ葉の散乱等)が解消され、周辺住民各位の好評を得ています。

これによりまして、平成31年から着手の当整備計画は概ね完了いたします。これもひとえに、関係各位の多大なご支援、ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

## 活躍するOB・OG

日本無線株式会社 中部支社

副支社長

福澤 輝明

(平成5年電気工学科卒)

私は平成5年、工学部電気工学科を卒業しました。在学中は、学業、ハンドボール部、アルバイトと楽しく学生生活を過ごしていました。

大学4年時の(江口研究室、中野研究室) 仲間とは、今でも連絡を取り合い毎年(12月30日)、天神の何処かで飲み会を開いています。

ここ数年、コロナの影響で参加出来ていませんが次回は参加したいですね。

卒業後は、日本無線(株)に入社し、東京(三鷹製作所)でSEとして13年間、全国のダム管理用制御処理設備の設計業務に携わってきました。全国のダム管理事務所に行つて色々なお客さま、地元の代理店さん、協力会社さんと出会い、設計に必要な(電気、通信、土木)の知識を学び、SEとしての経験を積む事が出来ました。

その後、地元福岡への異動を希望し、九州支社に営業職として異動する事が出来ました。技術職から営業職になった時には、本当に悩みましたが、営業職と言っても客先への提案活動、入札対応等、技術の知識も必要な営業職でしたので、割と早く馴染むことができた。九州支社では9年間営業経験を積み、宮崎営業所では所長として4年、鹿児島営業所でも所長として2年、現在は、中部支社副支社長兼営業担当として業務を遂行しています。

これから先、また何処に異動するかわかりませんが、生涯現役で頑張れるように体力を維持して行きたいです。

在校生の皆様には、色々な事にチャレンジして色々な経験を積んで、将来、希望する業種(職種)に必要な資格を学生時代に取得して下さい。

社会に出て戦力になるまで数年必要ですが、資格だけは即戦力です。

最後に本校卒業生の皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。



## あの先生は今

元社会環境学科 教授

阿山 光利



会う人ごとに、「吹奏 頑張ってますね」と声をかけられ、16年。

53歳の新任に、当時の学生部長より、吹奏楽団の顧問をというお話をいただき、まもなくキャプテンが挨拶に現れたことから始まり、退職まで「吹奏の阿山」で通っていたように思います。その間、図書館長の時には図書館のリノベーション、また教養力育成センター長としてセンター設立の準備期間を経験することができました。一方で社会環境学科、教職課程ならびに教養の学部横断科目をとおして多くの学生と接する機会に恵まれました。

この間の出会いそして経験は、「今在ること」に深く結びついていることを実感しています。現在、福岡工業大学の評議員、地元山口県の私立短期大学の監事として年に数える程度ですが会合に出席しています。この9月には同短期大学60周年記念の講演を行ったところで、あらためて福工大での経験の大きさに感謝しているところです。

日常は、番犬のつもりで退職の2カ月前から飼い始めたジャーマンシェパードとともに、施設のドッグランでの朝夕の散歩、週1度の海岸遊び、そして毎日1時間程度の哲学書の音読。これまでハイデガー、ピアジェ、和辻などを共に読破？したところです。

最後になりましたが、同窓の皆さんと同じく、歩みの基盤である福岡工業大学のさらなる発展をお祈り申し上げます。

元社会環境学科 教授

安永 誠



雄飛会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

一般教養助手として採用され、2016年（平成28年）退職までの45年間、管理情報工学科（1997～2001年）、社会環境工学科（2001～2016年）に所属し、特に保健体育を担当しておりました。

卒業生の皆様はご記憶があるかと思いますが、旧七号館（現在B棟）から体育館（現在アリーナ）横を抜けて筑前新宮駅に向かう校並木横に当時のテニス部員が自ら造り上げたテニスコートがありました。

私自身赴任直後から、硬式テニス部の顧問をしておりました関係上、30歳半ばまでは当時の部員と共に練習に参加しておりました。見事な校並木で、毎年花見の終わり頃にはテニスコートが、散った花びらでピンク色に染まった事を思い出します。

今でも年に何度かは当時の部員（といっても、彼らも既に還暦を迎えています）遠くは関東からラケットを携えてやって来て、もうじき75歳になる私に鞭を与えます。

彼らとの年齢差は同じ筈ですが、年齢が増すに従い、体力差は大きくなり鞭の痛みはより強く感じるようになりました。それが、悔しくて起床と同時に30分の障害予防のストレッチや筋力トレーニングと共に週4～5回の練習に励みながら、全国各地で開催されるトーナメントでの成績で得たポイントをもとに全日本ベテラン選手権に挑戦しようと奮闘中です。

さすがに、今年の8月中旬開催の中国ベテランオープン（於徳山）での炎天下2時間にも及ぶシングルの試合は過酷でした。

自分の体と常に対話し、怪我をしないように、病気をしないように、如何に調整していくか模索して止まない今日この頃です。

株式会社イー・エス

中武 義将

（平成26年知能情報システム工学専攻卒）



2002年に城東高校に入学してから2014年に大学院博士後期課程を修了するまでの12年間、和臼のキャンパスに通学していました。通い始めた当初はまだ最寄り駅の名称が筑前新宮駅で、レストランOASISが本部棟で営業していたのを覚えています。先日所用で訪れたところ、大学、高校ともさらに建物が増えており、母校がさらに発展しているのを見ることができうれしく思いました。

情報通信工学科で情報や無線・有線通信など色々な分野を学び、さらに勉強・研究したいと思い大学院へ進学しました。卒業研究から大学院修了まで渡辺教授の元で電磁界理論の研究を行っていました。

現在、これまでに得られた知識をフルに使って業務を行っています。自社の情報システム担当として社内インフラの構築運用を日々行うことと並行して、電波伝搬実験に携わったり、ネットワークエンジニアとしてデータセンターに出入りしたり、開発者が退職したためにメンテナンスでなくなったプログラムの改修を請け負ったりもしました。また、自社の業務を効率化するためにクラウド型のサービスを一人で一から開発し、運用も行っています。開発には、学部から大学院での研究活動までで得た知識、経験が大いに役立ちました。このサービスについて論文形式でまとめ、総務省消防庁の令和3年度消防防災科学技術賞に応募したところ優秀賞を頂くことができました。

これまでに身に着けた幅広い知識をさらに高め、今後も活躍していきたいと思っています。

# 同窓会会員子弟の 受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学の  
同窓会会員（在学生を含む）の子供、兄弟姉妹が  
本学の入学試験を受験される場合は、  
**すべての受験料が免除の対象になります。**  
免除を希望される方は、インターネット出願の入力画面に  
従って、同窓会会員の方の情報を入力してください。  
(卒業年度、卒業学科、続柄等)  
■問い合わせ先  
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 入試課  
TEL：092-606-0634(直通) FAX：092-606-7895  
e-mail：nyushi@fit.ac.jp

| 入 試 区 分 |                                                         | 受験料            |
|---------|---------------------------------------------------------|----------------|
| 大<br>学  | 学校推薦型選抜(専願制・併願制)、<br>スペシャルスキル選抜、専願制総合型選抜(後期)、<br>3教科型選抜 | 30,000円        |
|         | 共通テスト併用型選抜(社会環境学部のみ)                                    | 5,000円※        |
|         | 共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)                                     | 15,000円(4学科まで) |
| 短<br>大  | 学校推薦型選抜(専願制・併願制)、<br>自己推薦選抜                             | 25,000円        |
|         | 一期A・B、二期                                                | 25,000円        |
|         | 共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)                                     | 10,000円        |

※但し3教科型選抜(社会環境学部)を受験していること。

同窓会からの  
お知らせ

学生を応援する  
**100円朝食**  
キャンペーン実施！

9月26日～10月14日

8:00～8:45

★数量限定★  
なくなり次第  
力尽きます！

・場所  
レストラン OASIS

一般社団法人 雄飛会  
(福岡工業大学同窓会)

## 学生支援部よりお知らせ

# 学生を応援する 「100円朝食キャンペーン」スタート！



レストランOASISご協力のもと、学生支援の一環として  
「100円朝食キャンペーン」を2022年度前期末より開始しました。

100円朝食とは、学生生活支援の一環として、学食などにおいて  
100円で朝食を提供するサービスのことで、朝食をとることにより、  
学生の健康管理や生活習慣を改善し、学業に専念できる状態を  
維持することを目的としています。

## 福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧 (令和4年12月現在)

全国に25のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動をしています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、  
同窓生を誘って世代を超えた出合いの時間を過してください。

| 本・支部名(ブロック) |        | 本・支部長名(敬称略)  | エ リ ア 内 訳                                                                                    |
|-------------|--------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道支部       |        | 有松 義勝(71・通信) | 北海道全域                                                                                        |
| 関東本部        |        | 滝石 義礼(76・電気) | 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県                                                             |
| 東海本部        |        | 石田 裕人(79・電子) | 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県                                                                          |
| 関西本部        |        | 大明 孝雄(70・電子) | 富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県                                                         |
| 中国ブロック      | 鳥取県支部  | 金川 純(77・電気)  | 鳥取県全域                                                                                        |
|             | 島根県支部  | 澤田 一(74・材料)  | 島根県全域                                                                                        |
|             | 岡山県支部  | 名合 憲司(81・通信) | 岡山県全域                                                                                        |
|             | 広島県東支部 | 藤井 敏博(74・管理) | 福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・神石郡神石高原町・世羅郡世羅町                                                          |
|             | 広島県西支部 | 藤本 正宏(79・電子) | 広島市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・大竹市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡大崎上島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町 |
|             | 山口県支部  | 小畑太一郎(78・電気) | 山口県全域                                                                                        |
|             | 四国ブロック | 徳島県支部        | 羽坂 敏弘(75・電子)                                                                                 |
| 香川県支部       |        | 山地 正博(76・電気) | 香川県全域                                                                                        |
| 愛媛県支部       |        | 岩岡 一平(85・材料) | 愛媛県全域                                                                                        |
| 高知県支部       |        | 山本 俊平(78・電子) | 高知県全域                                                                                        |

| 本・支部名(ブロック)   | 本・支部長名(敬称略)  | エ リ ア 内 訳                                                                                                    |
|---------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福岡県<br>福岡支部   | 小口 幸一(71・電子) | 福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・<br>糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・<br>糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・<br>糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・<br>那珂川市 |
| 福岡県<br>北九州支部  | 木村 征洋(67・電子) | 北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・<br>遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・<br>京都郡荊田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・<br>築上郡築上町・築上郡吉富町                 |
| 福岡県<br>筑後支部   | 西山 友幸(71・電気) | 久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・<br>柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・<br>朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・<br>三潴郡大木町・八女郡広川町                  |
| 福岡県<br>筑豊支部   | 出水 貴之(00・情報) | 飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・<br>嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・<br>田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・<br>田川郡川崎町・田川郡香春町・田川郡添田町・<br>田川郡赤村     |
| 佐賀県<br>佐賀支部   | 牧瀬玄一郎(69・電子) | 佐賀県全域                                                                                                        |
| 長崎県<br>長崎支部   | 松尾 裕幸(72・機械) | 長崎県全域                                                                                                        |
| 大分県<br>大分支部   | 柴田 廣樹(73・通信) | 大分県全域                                                                                                        |
| 熊本県<br>熊本支部   | 中本 龍二(76・通信) | 熊本県全域                                                                                                        |
| 宮崎県<br>宮崎支部   | 猿渡三喜男(75・機械) | 宮崎県全域                                                                                                        |
| 鹿児島県<br>鹿児島支部 | 児玉 久(81・通信)  | 鹿児島県全域                                                                                                       |
| 沖縄県<br>沖縄支部   | 又吉 盛秀(75・電子) | 沖縄県全域                                                                                                        |



## 支部活動報告

## 【大分県支部】大分県支部総会報告

大分県支部 支部長 柴田 廣樹(昭和48年通信工学科卒)

新型コロナウイルス感染症第七波が猛威を振り始めた7月9日、ご多忙の中、下村学長・桑原特別顧問・長崎・佐賀県からのご参加を頂き30名で開催しました。三密の徹底は勿論懇親会は立回り禁止、お酌禁止。会の運営に工夫。同窓会の趣旨である知己を得、今後の人生を豊かにする、同窓会や本校へ少しでも恩返しをする事を旨に展開。参加者の人となりや少しでも多く知らしめることが出来るよう一人一人の発表に時間を割きました。

中でも田吹聡君(06卒)発表の「大分宇宙空港に関わる、くにさき宇宙ミライ計画開発委員会」は夢のある今後に期待の発表でありました。DXの時代なので観光だけにならず宇宙・航空・部品に繋がるビジネスチャンスが出てくる事を期待したいものです。また、学長の御発言に大分医大で行われている内視鏡手術に福工大の技術が貢献しているとの事。参加者の皆様の顔が何となく自信に満ちた表情であった事が忘れられません。

特に今回は若い方々の台頭が目覚ましく、各役割担当の方々の準備が、スクリーンが用意されていて思いの外、スピーディな展開がなされました。今後の大分県支部を牽引してくれると信じています。そう言った方々を10月と11月に開催予定の3県交流会、長崎県支部総会へお誘いしたという幹事会からの意見があり、実践予定であります。

今後この会報をご覧になった方や大分県支部の方々がQRコードを読み取り、お友達になつて頂く事を期待してペン置きます。



## 【福岡県北九州支部】総会・懇親会報告

福岡県北九州支部 幹事 川上 秀幸(平成6年電子機械工学科卒)

令和4年6月18日(土)にJ.R九州ステーションホテル小倉にて総会・懇親会を開催しました。昨年は9月25日に開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の期間が9月12日から9月30日に延長されたため幹事会で話し合いの結果、中止となり、二年ぶりの総会開催です。当日は19名参加で久しぶりにお会いする方と再会を喜び、開会となりました。木村支部長から開会挨拶の後、事務局より昨年度決算報告、平川幹事から会計監査報告、河野副支部長より活動結果報告、小柳代議員より母校の現在の様子について報告を行いました。

懇親会では今回初めて参加の会員、いつも参加されている会員の間で話が弾み、恒例のゲーム大会を行い、楽しい時間を過ごしました。

久しぶりにお会いしての行事になりましたので、自己紹介と近況報告を一人一人時間をとって行いました。その中で、北九州支部の行事に参加していただけの会員を増やすにはどのようにしたら良いか、幹事会のメンバーの交代時期についてのお話など支部の将来に関する話題も出てまいりました。次世代の卒業生との接点を作る難しさはありますが、VUCA(先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態)の時代に私達の世代ができることを見つけ、気軽に集える場を提供したいと感じた一幕でした。

事務局からは今後の予定として日本新三夜景に選ばれた「海からの工場群夜景」・血倉山山頂からの夜景を楽しむことができる「星空ピアガーデン」の行事の予告があり、「コロナ禍の動向次第ではあるが、この行事にはできるだけ参加したい」との声をいただきました。

残念ながら「海からの工場群夜景」は中止となり数名の個人参加。血倉山山頂からは8名の参加で異口同音に凄く・素晴らしい夜景と感激しておりました。

令和元年度の活動も少し補足いたします。

関門橋の下で、BBQ大会、11月には母校の立花祭を見学ツアー等々と同窓会会員の増加を目指しながら元気に活発に活動しております。

最後になりましたが、今回報告の場をいただき、感謝申し上げます。これからも、北九州支部として良いと判断した活動を継続していく所存です。



立花祭



BBQ大会



夜景クルーズ若戸大橋



集合写真

決算・予算報告

| 令和3年度決算 令和3年度収支計算書(R3.4.1～R4.3.31) 単位:円 |            |               |            |
|-----------------------------------------|------------|---------------|------------|
| 収入の部                                    |            | 支出の部          |            |
| 科 目                                     | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
| 会費                                      | 2,640,000  | 大会費           | 0          |
| 雑収入等                                    | 59,221     | 理事会費          | 239,588    |
| 前年度預り金                                  | △2,490     | 企画・広報費        | 407,910    |
| 当年度預り金                                  | 8,790      | 組織支援費         | 1,860,870  |
| 当年度収入合計                                 | 2,705,521  | 学生支援費         | 1,209,800  |
| 前年度繰越金                                  | 90,331,325 | FIT Museum事業費 | 2,816,188  |
|                                         |            | 事務局費          | 4,769,227  |
|                                         |            | 特別記念事業費       | 0          |
|                                         |            | 予備費           | 0          |
|                                         |            | 当年度支出合計       | 11,303,583 |
|                                         |            | 次年度繰越金        | 81,733,263 |
| 収 入 合 計                                 | 93,036,846 | 支 出 合 計       | 93,036,846 |

※会費納入方法変更により、会費の納入時期が次年度になりました。

| 令和3年度決算 貸借対照表(R4.3.31現在) 単位:円 |            |            |            |
|-------------------------------|------------|------------|------------|
| 資産の部                          |            | 繰越金の部      |            |
| 科 目                           | 金 額        | 科 目        | 金 額        |
| 現金                            | 223,799    | 預り金        | 8,790      |
| 普通預貯金                         | 14,209,464 | 前期繰越正味財産   | 90,322,535 |
| 定期預貯金                         | 67,300,000 | 任意積立金      | 82,224,373 |
|                               |            | 特別記念事業費積立金 | 8,098,162  |
|                               |            | 当期正味財産増減額  | △8,598,062 |
| 合 計                           | 81,733,263 | 合 計        | 81,733,263 |

| 期中増減額(R3.4.1～R4.3.31) 単位:円 |            |            |            |
|----------------------------|------------|------------|------------|
| 区 分                        | R3.4.1現在   | 期中の増減      | R4.3.31現在  |
| 現金・普通預貯金                   | 23,031,325 | △8,598,062 | 14,433,263 |
| 定期預貯金                      | 67,300,000 | 0          | 67,300,000 |
| 合 計                        | 90,331,325 | △8,598,062 | 81,733,263 |



| 令和4年度予算 令和4年度収支予算(R4.4.1～R5.3.31) 単位:円 |             |               |             |
|----------------------------------------|-------------|---------------|-------------|
| 収入の部                                   |             | 支出の部          |             |
| 科 目                                    | 金 額         | 科 目           | 金 額         |
| 会費                                     | 24,160,000  | 大会費           | 0           |
| 雑収入等                                   | 9,000       | 理事会費          | 380,000     |
| R3年度預り金                                | △8,790      | 企画・広報費        | 522,000     |
| R4年度預り金                                | 8,790       | 組織支援費         | 3,810,000   |
| 当年度収入合計                                | 24,169,000  | 学生支援費         | 2,900,000   |
| 前年度繰越金                                 | 81,733,263  | FIT Museum事業費 | 3,400,000   |
|                                        |             | 事務局費          | 4,991,000   |
|                                        |             | 特別記念事業費       | 0           |
|                                        |             | 予備費           | 1,000,000   |
|                                        |             | 当年度支出合計       | 17,003,000  |
|                                        |             | 次年度繰越金        | 88,899,263  |
| 収 入 合 計                                | 105,902,263 | 支 出 合 計       | 105,902,263 |

令和4年度 代議員一覧 (令和4年6月～)

| 氏 名       | 卒 年 科   | 役 職     | 専 門 部                | 選 出 地 域           |
|-----------|---------|---------|----------------------|-------------------|
| 小 柳 辰 生   | 7 0 電 子 | 会 長     |                      | 福 岡 支 部           |
| 米 倉 和 實   | 7 0 電 子 | 副 会 長   | 企画・広報部               | 福 岡 支 部           |
| 本 行 義 洋   | 8 4 通 信 | 事 務 局 長 | 組織支援部                | 福 岡 県             |
| 桑 原 雅 浩   | 8 3 電 気 | 特 別 顧 問 |                      | 福 岡 県             |
| 田 中 睦 教   | 6 6 電 子 | 理 事     | 組織支援部                | 福 岡 支 部           |
| 外 山 吉 計   | 7 1 通 信 | 理 事     | 財務部長<br>FITMUSEUM事業部 | 筑 後 支 部           |
| 楠 本 總 幸   | 7 1 通 信 | 理 事     | 学生支援部                | 福 岡 支 部           |
| 萩 田 寛 司   | 7 2 電 子 | 理 事     | 組織支援部                | 福 岡 支 部           |
| 齋 藤 文 親   | 6 7 電 子 | 監 事     |                      | 福 岡 県             |
| 松 尾 正 博   | 6 9 電 子 | 監 事     |                      | 福 岡 県             |
| 滝 石 義 礼   | 7 6 電 気 |         |                      | 関 東 ブ ロ ッ ク       |
| 石 黒 佳 一 郎 | 7 2 通 信 |         |                      | 関 東 ブ ロ ッ ク       |
| 石 田 裕 人   | 7 9 電 子 |         |                      | 東 海 ブ ロ ッ ク       |
| 大 明 孝 雄   | 7 0 電 子 |         |                      | 関 西 ブ ロ ッ ク       |
| 川 谷 伸 一   | 9 0 機 械 |         |                      | 関 西 ブ ロ ッ ク       |
| 藤 本 正 宏   | 7 9 電 子 |         |                      | 中 国 ブ ロ ッ ク       |
| 岩 岡 一 平   | 8 5 材 料 |         |                      | 四 国 ブ ロ ッ ク       |
| 小 口 幸 一   | 7 1 電 子 |         |                      | 福 岡 支 部           |
| 小 柳 礼 二 郎 | 7 4 電 子 |         |                      | 北 九 州 支 部         |
| 出 水 貴 之   | 0 0 情 報 |         |                      | 筑 豊 ブ ロ ッ ク       |
| 松 尾 裕 幸   | 7 2 機 械 |         |                      | 長 崎 ・ 佐 賀 ・ 大 分   |
| 猿 渡 三 喜 男 | 7 5 機 械 |         |                      | 熊 本 ・ 宮 崎 ・ 鹿 児 島 |
| 又 吉 盛 秀   | 7 5 電 子 |         |                      | 沖 縄 県 支 部         |
| 橋 本 豊 文   | 6 9 電 子 |         |                      | 福 岡 県             |
| 松 尾 一 壽   | 7 1 電 子 |         |                      | 福 岡 県             |
| 小 松 時 浩   | 8 6 管 理 |         | 組織支援部                | 福 岡 県             |
| 藤 野 和 美   | 9 2 電 気 |         | 企画・広報部               | 福 岡 県             |
| 笹 原 文 仁   | 0 7 通 信 |         | 学生支援部                | 福 岡 県             |
| 矢 羽 田 誠 一 | 6 9 短 大 |         |                      | 福 岡 県             |
| 倉 光 真 紀   | 9 2 短 大 |         |                      | 福 岡 県             |
| 百 原 武 敏   | 6 7 電 子 | 相 談 役   |                      |                   |

事務局より

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告を掲載したいので寄付して欲しい」という趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額のようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑を発行するので、あなたの情報を提供して欲しい」という勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。

2. 異動の連絡をお願いします。

交流会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださいと幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール・FAX・葉書でも受け付けております。

3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。

同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他ご質問・ご要望などなんでも結構ですので、どしどしお寄せください。

4. 定款の変更について

一般社団法人雄飛会定款を変更しました。改定後の定款につきましては、雄飛会ホームページに掲載しております。

【連絡先】

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)事務局  
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1  
TEL 092-1608-1598(直通)  
FAX 092-1608-1598  
e-mail [dousoukai@fit.ac.jp](mailto:dousoukai@fit.ac.jp)



編集後記

コロナ禍で交流会が中止になり、会員の皆様からのご意見・ご要望等を直接伺う機会に恵まれない中ではありますが、本年度も会報雄飛を無事に発行することができました。今年は、支部総会やFIT MUSEUM見学会など、徐々にですが同窓会活動を再開しており、紙面にもぎやかになりました。是非じっくりとご覧ください。